

祭り晴，刈り終えて稲木へ



石割京大農園
Ishiwari Kyoto-univ. Farm

一番広い田んぼの稲「祭り晴」を刈りました。稲木用地を確保するために、まず、稲海原の真ん中をモーゼの如く刈って行きます。稲木に掛けた直後はまだ葉の緑が残りますが、周りは稲が乾く時の香ばしい香りで満ちます。晴れが続くと脱穀。



手前の圃場にはメタン発酵消化液を肥料として使いました（石ナビvol.168）。収穫量も遜色なかったようです。

